

CZ
366
067



國稅滯納處分法
附 諸規程並伺
指令問答
全

032961-000-0

CZ-366-067

國納滯納處分法

福岡県収税部

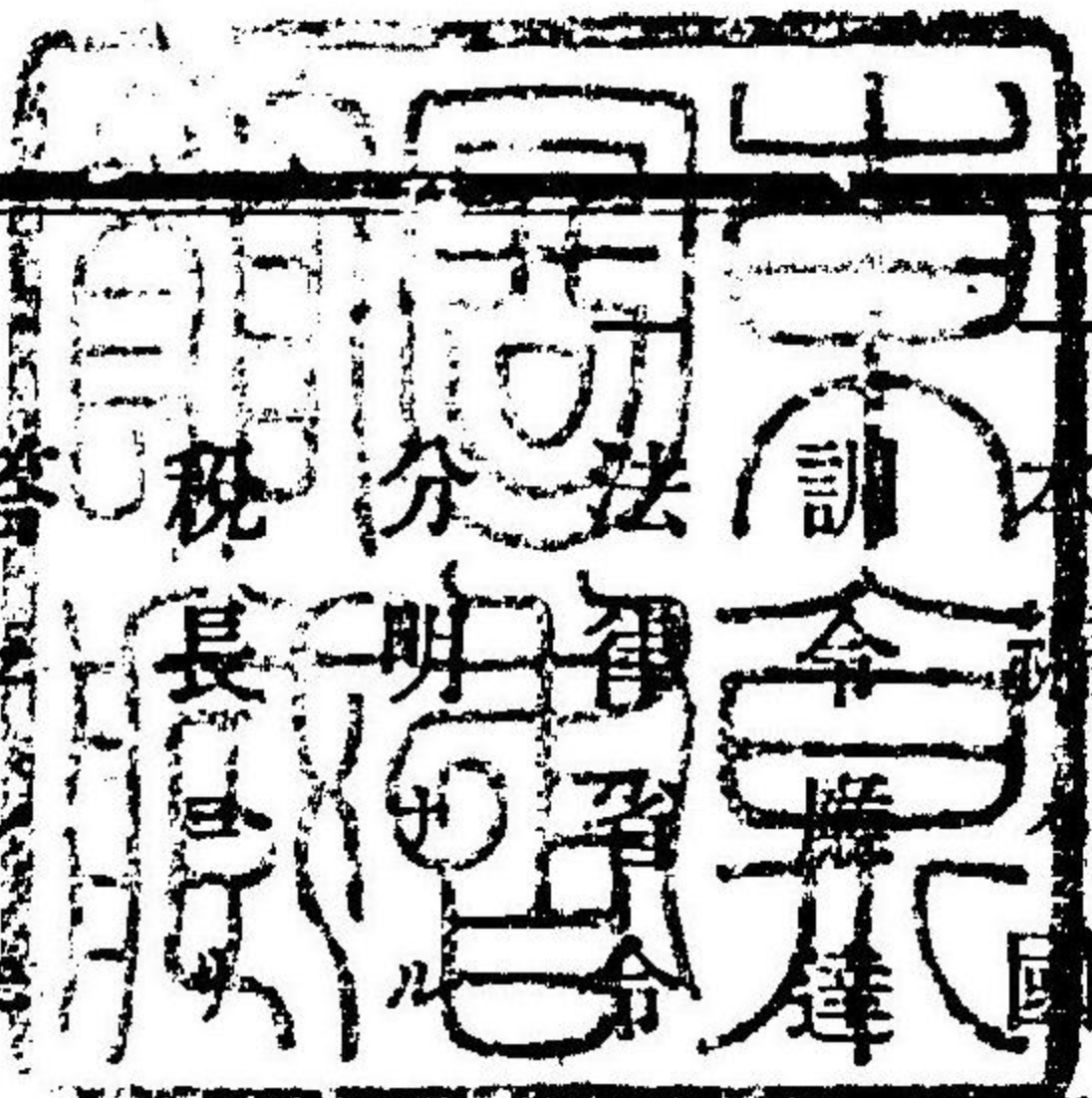
M23

BBJ-0265



CZ 特39
366 195
067

No. 5877/13



國稅滯納處分法

凡例

本補令國稅滯納處分法ヲ正條トシ之ニ關スル省令
訓令彙編ニテ備考トシテ附記ス

法律省令中解釋ノ疑義ニ涉ルモノ或ハ取扱方ノ不
分明ナルモノニシテ既ニ各府縣ノ伺指令各府縣收

稅長ニテ主稅局長ヘノ問合回答并ニ本課ニ於テ問

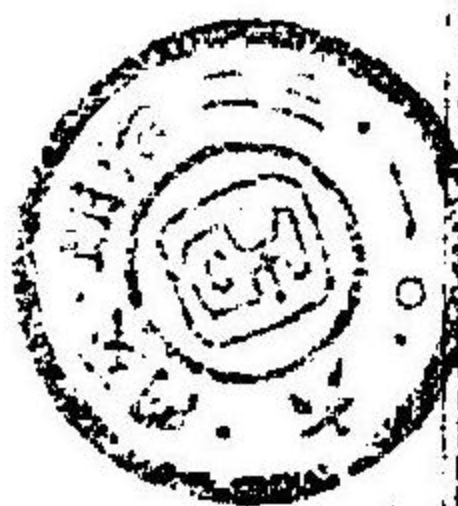
答セシモノ等之ヲ節畧シ該條項ニ就テ註記スト雖

是唯主務者ノ參考ニ供スルノミニシテ固ヨリ一

般普行ノモノニアラサレハ現實ノ事務上ニ於テ直

ニ之ヲ適用スルヲ許サス

明治二十三年六月二十三日



國稅滯納處分法 目次

第一章 總則	一
自第一條至第十一條	
第二章 差押	四
自第十二條至第二十九條	
第三章 賣却	十一
自第三十條至第四十四條	
第四章 送達	十五
自第四十五條至第四十九條	
第五章 罰則	十六
自第五十條至第五十一條	
附則	
自第五十二條至第五十四條	全

附 錄

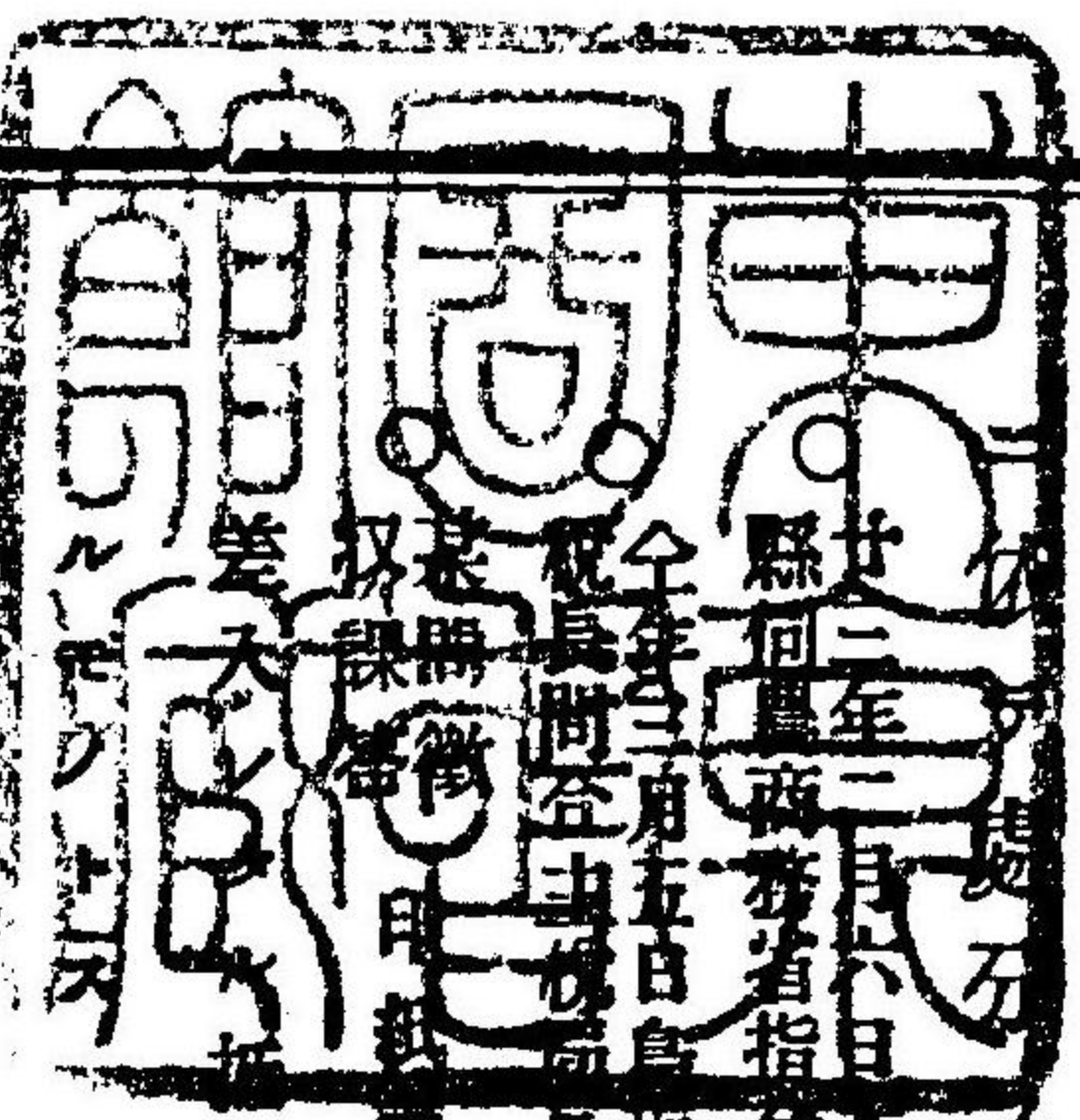
〔廿三年大藏省令第一号〕	國稅滯納處分法施行細則	十七丁
〔全年應達第百五号〕	全取扱心得	廿七丁
〔廿年大藏省訓令第八号〕	國稅滯納處分施行實況報告表并處分費報告表調製方	廿九丁
〔全年應達第三十七号〕	右報告表差出期限	三十丁
〔廿二年法律第三十三号〕	地方稅備荒儲蓄金滯納處分方	卅一丁
〔二十三年縣達第二十七号〕	地方稅及市稅町村稅滯納處分取扱方	全 丁

國稅滯納處分法

明治二十二年十二月二十日法律第三十二号

第一章 總 則

第一條 國稅ノ滯納ニ係ルモノハ關稅ヲ除クノ外總テ此法律



〔廿二年二月六日日本縣同業商會報告〕 鑛山借區稅滯納處分ハ日本稅法ニ依ル儀ト心得可シ

〔廿二年三月五日島取縣稅務課長回答〕 隨時収入ニ係ル諸稅モ滯納處分法ニ依ル

〔廿二年四月五日島取縣稅務課長回答〕 關稅ノ印紙稅ノ延納許可ヲ受ケタルモ滯納スルトキハ先ツ其

〔廿二年四月五日島取縣稅務課長回答〕 關稅ノ印紙稅ノ延納許可ヲ受ケタルモ滯納スルトキハ先ツ其

〔廿二年四月五日島取縣稅務課長回答〕 關稅ノ印紙稅ノ延納許可ヲ受ケタルモ滯納スルトキハ先ツ其

〔廿二年四月五日島取縣稅務課長回答〕 關稅ノ印紙稅ノ延納許可ヲ受ケタルモ滯納スルトキハ先ツ其

第二條 國稅ヲ其納期限ヲ過キ完納セサル者アルトキハ收入

官吏ヨリ督促令狀ヲ發スヘシ

○施行細則第一條參看スヘシ

督促令狀ヲ發スルトキハ手数料トシテ一通ニ付金三錢ヲ徵收スヘシ

○二十三年二月七日東京府令 徵稅令書及傳令書ハ必シモ本人其他ノモノ受領スルヲ要セズ正當ノ手續ニ依リ發付セル上ハ其効チ有スルヲ以テ失踪中ト雖モ之ヲ

發シテ納稅セサルキハ直ニ滯納處分ヲ爲スモノトス

○全年三月十四日青森縣令 土地所有權ノ移轉ハ納期前ニ在ルモ登記所ヨリ收稅部出張所ヘノ通知納期末日ニ追マルモノアルキハ隨テ市町村役場ニ於テハ全ク納

期後ニ涉ルコトアリ此場合ニハ乙者ニ對シ更ニ期限ヲ定メ徵稅傳令書ヲ發シタル後不納スルニアラサレハ滯納報告ヲ爲スコトヲ得ス但シ事由ヲ具シ豫

メ報告セシムルヲ要ス

又此場合ニ於テ既ニ甲者ヲ滯納者トシ滯納報告後ナルトキハ其租額セシ事由ヲ報告セシメ乙者ニ對シ前項ノ例ニ依リ取扱ヲ爲スモノトス若シ甲者滯納處

分者手ニ際シ甲者ヨリ乙者ヘ納期前所有權移轉セシテ登記所ヨリ通知洩ナル

コトヲ發見シタルトキハ土地臺帳訂正ノ上乙者ニ對シ徵稅ノ手續ヲ爲スヘシ

第三條 滯納者督促令狀ヲ受タル日ヨリ五日以内ニ稅金ヲ完

納セサルトキハ其所有財產ヲ差押ヘ賣却シテ之ヲ徵収スヘシ

○全年一月廿八日茨城縣令 督促令狀ヲ書留郵便ヲ以テ送付シタルトキハ先地到

達ノ日ヨリ起算シ五日以内ニ處分費稅金ヲ完納セサルトキハ直ニ財產差押

ニ着手シ然ルヘシ

○全年二月十九日富山縣令 處分法第三條及第三十條第四十四條等ノ日限ハ其末日休

暇ニ相當スル日トキハ之ヲ除クヘシ

○全年二月十七日岐阜縣令 地租滯納者ニシテ督促令狀ノ期限內該地ヲ賣却セシ

場合ニ於テハ最前ノ所有主即チ賣主ニ係リ處分スヘシ但シ其意志ノ如何ニ依

リ第五十一條ニ該當スルモノトス

質入地ノ地租ヲ滯納シタルキハ質取主ニ係リ處分ヲ要ス

○全年三月五日鳥取縣令 共有地ニ係ル地所共有ノ步合ヲ定メ登記簿ニ記載アル

地租滯納ノ場合ハ其共有者中何レヘ對シ處分スルモ差支ナシ

船車ノ如キ滯納者ニシテ航海中〔航海先不分明ノ分〕ノモノアリテ其船舶ノ外他ニ差

押フヘキ財產ナキモノ、如キハ歸航ヲ待テ處分スルノ外ナシ

○施行細則第一條取敢心得第一條參看スヘシ

第四條 滯納者ノ納稅義務ハ滯納處分濟ヲ以テ終ルモノトス

○全年二月七日東京府令 國稅滯納處分法發布前ニ於テ稅金不納ノ爲メ公賣處分ヲ

受ケ官損ニ歸シタルモノ全處分法發布後ニ於テ再營業出願スルキハ舊法ノ

追徵ヲ論セズ直チニ許可スルモノトス

○全年二月十七日岐阜縣收 債主權ヲ差押ヘタルトキ其負債主逃亡失踪シテ負債
稅長問合主稅局長回答 ノ義務ヲ認メシムルヲ能ハサルハ賣却スルヲ得ス而シテ他ニ財產ナキ
トキハ直ニ處分法第四條ノ效果ヲ得ルモノトス

○全年二月二十八日 船車所有主躬自ラ該船車ヲ携帶失踪シタル場合ノ如キハ徵
本縣伺大藏省指令 稅傳令書ハ必シモ本人ノ之ヲ受領スルヲ要セス相當ノ手續ニヨリ之ヲ發付
スルヲ以テ其効アリトス故ニ納期限ヲ過キ納稅セサルハ直ニ滯納處分ヲ
爲シ其差押フヘキ財產ナキモノハ本法第二十四條ノ規則ヲ履行シ全第四條
ノ效果ヲ受クヘキモノトス

○全年一月二十五日 國稅納稅者營業品携帶失踪シ他ニ公賣スヘキ財產ナキ
本縣伺大藏省指令 モノ滯納處分法第四條ノ效果ヲ受ク稅金ハ官損トス

○全年二月二十八日 船車所有者徵稅傳令書ヲ受ケタル后失踪シ他ニ財產ナク滯
本縣伺大藏省指令 納處分法第四條ノ效果ニ依リ稅金官損ニ歸スルモ營業權ハ依然存在スルモノナリ
○全年三月十八日大藏 國稅中諸營業稅及ヒ船車稅ヲ納ムルモノニシテ逃亡若ク
省訓令第三十七号 ハ失踪シ納期限ヲ過キ滯納處分ヲ了シタル者次ノ納期ニ至リ徵稅ノ手續ヲ
ナスノ際尙ホ其所在ヲ知ル能ハサルトキハ廢業又ハ物件紛失ノ取扱ニ準
國稅臺帳ヨリ之ヲ除却スヘシ

第五條 滯納者財產ノ價格處分費ヲ償フテ剩餘ヲ得ル見込ナ
キトキハ差押ヲ爲スユトヲ得ス此場合ニ於テモ亦前條ニ同シ

○全年二月十七日岐阜縣收 稅長問合主稅局長回答 處分法第五條ノ場合ニ於テハ可成收入官吏ニ於テ見
込ヲ立テ萬止ムヲ得サルハ限リ臨時評價人ヲ雇入ル、モノトス

第六條 滯納處分費滯納稅金ニ付テハ他ノ債主ニ對シ先取權
アルモノトス但シ滯納シタル稅金ノ納期限ヨリ一ヶ年前ニ
質入書入ト爲シタル財產ニ付テハ此限ニ在ラス

○全年三月五日鳥取縣收 稅長問合主稅局長回答 處分法第六條ノ先取權ハ裁判所ノ費用ノ如キモノニ對
シテモ本條ニ依リ先取權アリ

○全年二月十七日岐阜縣收 稅長問合主稅局長回答 處分法第六條但書一ヶ年前ハ登記セサル動產ハ證書
面ニ依ルト雖モ不正構造等ノ疑アルモノハ尙其事實ニ就キ斟酌スルヲ要ス

第七條 酒類醬油造石稅ニ付滯納處分ヲナストキ其課額既ニ
定マリタル稅金ハ未タ其納期ニ至ラサルモ滯納稅金ト併セ
テ之ヲ徵收スヘシ

○全年三月五日鳥取縣收 稅長問合主稅局長回答 處分法第七條ノ課額ハ差押ノ當時定マリタルモノヲ云フ

第八條 滯納處分費ハ左ニ掲クル費目ニシテ督促令狀手数料

ヲ除クノ外實際支辨スルモノヲ云フ

第一 督促令狀手数料

○全年二月一日福岡出 督促令狀送達セシムルニ當リ使丁ヲ雇入レタルトキ其雇
張所伺收稅長指揮 料ハ處分費トシテ滯納者ヨリ徴収スルヲ得ス

第二 差押調書及賣却調書調製費

○全年二月一日福島出 處分法第八條第二ノ調書ハ收入官吏自カラ調製スルモノ
張所伺收稅長指揮 ナレハ其費用ハ用紙代而已ナリ

第三 滯納者又ハ其債主若クハ負債者ニ對スル通信費

○某問徵 通信費トハ都テ(督促令狀送達ニ要スル使丁ノ雇賃ハ除ク)其滯納
便稅電信料等ヲ云フ 處分上ヨリ起リ滯納者又ハ債主負債主等ニ對シ往復ニ要スル使夫賃并ニ郵

第四 評價人看守人又ハ競賣人ノ給料

○全年二月一日福島出 評價人看守人競賣人ノ給料ハ適宜收入官吏ニ於テ定ムル
張所伺收稅長指揮 モノトス

第五 差押物件ノ運搬保管又ハ賣却ニ要スル諸費

○某問徵 賣却ニ要スル諸費トハ公賣ノ際其場ニ充ツル家屋ノ借入レ賃其他
物品置場料ノ如キヲ云フ 公賣スヘキ牛馬等ノ飼料ハ處分費トシテ徴収スルヲ得

第六 公告費

○全年三月四日栃木縣收 公告費ニハ公告ニ用ユル用紙モ包含ス
稅長問合主稅局長回答

○全年二月一日福島出 公告費ニハ公告書ノ送達賃モ包含ス
張所伺收稅長指揮

第七 訴訟ニ用スル諸費

○全年二月二十六日大坂府 處分法第八條第七項ノ訴訟入費ハ收入官吏ノ旅費日
收稅長問合主稅局長回答 當テ除クノ外實際支辨シタルモノヲ云フ

第九條 滯納者ニ於テ賣却決行ノ前日マテニ處分費税金ヲ完

納スルトキハ其財産ノ差押ヲ解クヘシ

第三者ヨリ滯納者ノ爲メニ前項ノ金額ヲ代納シタルトキ亦同シ

○全年二月五日福岡出 滯納者財産賣却決行ノ當日未ダ落札ノ達ヲナサ、ル前滯
張所伺收稅長指揮 納者若クハ第三者ヨリ處分費税金ヲ完納セントナ申出ルモ處分法第九條

ニ依リ取扱ヲ得ス

○全年二月十七日岐阜縣收 處分法第九條ニ據リ差押ヲ解クモ更ニ其旨揭示ニ及ハス
稅長問合主稅局長回答

第十條 滯納處分執行ニ關シ不服アリテ出訴スル者アルモ其
處分ノ執行ヲ停止セス

○處分法取扱^{心得}第二條參看スヘシ

第十一條 收入官吏ノ收入管轄地外ニ於テ滯納處分ヲ爲スコ
トヲ要スルトキハ收入官吏ヨリ其處分ヲ爲スヘキ地ノ收入
官吏ニ之ヲ囑託スルコトヲ得但他ノ地方管内ニ係ルトキハ
收入官吏ハ其所屬長官ヲ經テ囑託ノ手續ヲ爲スモノトス

○全年四月十九日 滯納者ニ對シ直チニ督促令狀ヲ發シ猶完納セサルトキニ關
主稅局長通知 托ノ手續ヲ爲スヘシ

○施行細則第十一條取扱心得第三條參看スヘシ

第二章 差押

第十二條 財產差押ヲ爲ストキハ地方長官ヨリ差押命令書ヲ
發シ收入官吏ヲシテ之ヲ執行セシムヘシ

○全年二月四日長崎縣收 差押命令書ハ之ヲ發付スルノミノ明文アリテ收入官吏
稅長問合主稅局長回答 執行濟返納スヘキ明文無之候處該書式ニ依レハ執行濟ノ上ハ地方長官ヘ返

付スヘキモノ、如クナルモ尙ホ收入官吏ニ於テ保存シ置クヘキモノトス

○全年五月八日 國稅收入ニ關スル事務ハ渾テ收入官吏ニ於テ可取扱勿論ニ候
主稅局長補牒 處納期ニ際シ滯納者各地輩出其財產ノ差押等一時事務差集ヒ他ノ收稅屬等

ヲ以テ之ヲ補助セシムル場合ニ於テ財產差押調書等ニ署名方ノ儀收入官吏
ハ某代理官姓名ト記シ捺印セシムル等ニ省議決定ス云々

○施行細則第十二條取扱心得第一條參看スヘシ

第十三條 財產差押ヲ爲ストキハ處分費税金ニ充ル金額ヲ目
途トシ通貨ヲ先ニシ次ニ左ノ順序ニ從ヒ其物件ノ賣却代價
ヲ見積リ逐次差押ヲ爲スヘシ但第一第二第三ノ物件ハ事宜
ニ依リ順序ニ拘ハラズ之ヲ差押フルコトヲ得又物件ノ分割
スヘカラサルモノ及分割スレハ價值ヲ減スヘシト見認ムル
モノハ其全部ヲ差押フルコトヲ得

○全年二月四日長崎縣收 處分法第十三條ニ依リ財產差押ニ當リ收入官吏ニ於テ
稅長問合主稅局長回答

價格ヲ定メ難キ場合若クハ眞價鑑定ヲ要スル等ノ場合ニ於テハ特ニ評價人又ハ監定人ヲシテ評價或ハ監定セシメ其給料ハ滯納處分費トシテ賦課スルヲ得

○全年二月七日福井 縣何大藏省指令 數人共有地ノ地租ヲ滯納スルモノアルトキハ其共有財産ト各個人ノ財産トヲ分タス處分法第十三條ノ順序ニ依リ差押ユルモノトス

共有財産ニテ不足スル見込アルトキハ各個人ノ財産ヲ通シ處分法第十三條ノ順序ニ依リ差押ユルモノトス又共有者中一人又ハ數人ノ財産ニ就キ同第十三條ノ順序ニ依リ差押ユルモノトス總テ自由タルヘシ

○全年二月十七日富山縣 知事問合主稅局長回答 一村共有地租ヲ不納シタルトキ他ニ一村共有ノ動産アルトキハ其一村共有財産ニ就キ滯納處分法第十三條ノ順序ニ依リ差押ヲ爲スモノトス

第一 地金銀、公債證書、株券、手形其他ノ證券

○某問徵收課答 其他ノ証券トハ第四ノ債主權ヲ除キタル有價流通券ニシテ大藏省証券當座預金引出小切手ノ類ノ如キモノナク云フ

第二 農業其他ノ營業上ノ生産物製造品及賣品

第三 第一第二ニ掲ケサル動産及一月以内ニ收穫シ得ヘキ土地ノ生産物

○全年二月十七日岐阜縣稅局長問合主稅局長回答 板權商票特許等ノ權利ヲ有スルモノ及酒造免許鑑札ノ如キ價值ヲ有スルモノト雖モ差押ヲ爲スノ限リニ非ラス

○全年二月十九日富山縣何大藏省指令 處分法第十三條ニ於テハ船舶ハ動産トス

○全年三月四日栃木縣稅局長問合主稅局長回答 處分法第十三條第一項ノ証券ニハ印紙ハ包含セス第三項ノ動産トス

第四 債主權

○全年二月廿八日茨城縣稅局長問合主稅局長回答 貯金通帳ハ處分法第十三條第四項ニ該當ス

第五 不動産

○全年三月十二日奈良縣稅局長問合主稅局長回答 家屋ニ付屬スル建具疊ハ不動産ニ組入レ第十三條各項ノ順序ニ依リ差押ヲ爲スヲ得

第六 質入書入トナシタル財産但質屋營業者ニ質入シタル動産ヲ除ク

○全年二月廿八日石川縣何大藏省指令 質屋營業者ニ質入シタル動産ハ本人ノ財産ト看做ス可カラズ

第十四條 主タル物件ノ差押ハ其物件ヨリ生スル利益又ハ生産物ニモ其効力ヲ及ホスモノトス

○全年二月廿六日大阪府收 處分法第十四條土地差押ノ場合ニ於テ借地人ノ設置
稅長問合主稅局長回答
セル井水ノ如キハ勿論差押ノ効力ヲ及ホスヘキモ小作人ノ生産セシメタル
農産物竹木モ俱ニ差押フルコトヲ得ヘキカ如クナルモ地主ノ収納スヘキ利
益又ハ生産物ノ外差押フルコトヲ得ス

○全年二月十九日富 田畑等ヲ差押タルトキ一月以内ニ収穫シ得ヘカラサル立毛
山縣伺大藏省指令
ハ第十四條ニ據リ有効ノモノトシ桑茶等ノ植物ニハ及ハサル哉ナル哉ニ對
シ桑茶等其土地ニ附着シタルモノ其一月以内ニ収穫シ得ヘキ部分ノ外差押
ノ効力ヲ及ホスモノトス其他ハ伺ノ通

第十五條 滯納處分着手以前ニ裁判執行ノ爲メニ滯納者ノ財
産一部ヲ差押ヘラレタル場合ニ於テハ其殘部ヲ差押フヘシ
其賣却代價處分費税金ニ對シ不足ナルヘント認ムルトキハ
該裁判所ニ照會シテ其不足金額ヲ請求スヘシ

第十六條 第十三條第一第二第三ノ物件ニシテ滯納者所有ノ
家屋倉庫其他滯納者所用ノ場所ニ現在スルモノハ滯納者ノ
所有ニ非サル旨ヲ申告スト雖モ其證據分明ナラサルトキハ

之ヲ差押フルコトヲ得

○全年三月五日京都府收 雇中ノ家族ニシテ他ノ家宅ニ別居スルモ滯納者ト同變
稅長問合主稅局長回答
ノモノニ屬スル財産ハ處分法第十八條第十ノ場合ノ外差押ヲ爲サル限リ
ニアラス

○全年二月一日福島出張 滯納者非戸主ニシテ別ニ戸主アルモ土地其他ノ財産滯
所伺本縣稅長指揮
納者ノ所有タルコトヲ記名セサルモノハ普通戸主ノ所有ト認メサルヘカラス
依テ此場合ハ滯納者ノ財産タルコト判然タルモノニ限リ差押フルモノトス
○某問徵收課答 處分法第十六條ニ規定スル所ハ滯納者ノ同居家族ニ非ラサ
ル他人ノ所有ヲ指スモノニシテ若シ處分執行ノ際同居家族ノ所有ナリト申
告シ或ハ官簿ニ登載セラレタル等ノ證據ヲ提出スルト雖モ其一年前ニ係ラ
サルモノハ亦之ヲ差押フルコトヲ得

第十七條 前條ノ場合ニ於テ差押物件ノ取戻ヲ請求セントス
ル者ハ賣却執行ノ五日前マテニ所有主タルノ證據ヲ具ヘテ
收入官吏ニ其取戻ヲ請求スヘシ

○全年三月五日島根縣收 處分法第十七條ノ期日ヲ過キ差押物件ノ取戻ヲ請求ス
稅長問合主稅局長回答
ルモ返却セス其賣却代金モ下戻スヘキニ非ラス

○全年二月十九日富 處分法第十條ノ通貨ト雖ヒ封金又ハ紙幣番号等ニ依リ他日
山縣伺大藏省指令 ノ證憑ヲ具フルモノニ限リ第十七條ニ準據スヘキ哉ニ對シ融通費用ヲ許サ
ル契約アルモノハ伺ノ通

○全年一月廿八日茨城縣收 滯納者又ハ同居家族等財産差押ノ立會人等カ差押物
稅長問合主稅局長回答 件ノ質入書入ナルコトヲ申告セサルヨリ債主ヘ通知ヲ爲サス公賣決行濟ノ
場合ニ於テ該債主ヨリ財産取戻ノ請求アルモ登記ヲ經サル物件ニ就キテハ
受理スヘカラス

第十八條 左ニ掲クル物件ハ之ヲ差押フルコトヲ得ス

第一 滯納者及其同居家族ノ生活上缺クヘカラサル衣服、寢
具、家具及廚具

○全年三月五日島根縣收 處分法第十八條ノ同居家族ハ現ニ同居セルモノヲ云フ
稅長問合主稅局長回答 其居ヲ分ツモノ宅地内ニシテ家計上同居ノ實アルモノハ惣テ同居者ト同一
視シ然ルヘシ

○某問徵收課答 衣服寢具ハ差押當時ニ於テ生活上必要缺クヘカラサルモノ
ニ限ル

○施行細則第二條參看スヘシ

第二 滯納者及其同居家族ノ人口ヲ量リ三十日間ノ生活ニ
必要ナル食料及薪炭

○全年二月十四日青森縣收 處分法第十八條差押ヲ得サル者ノ内第二項薪炭トノ
稅長問合主稅局長回答 ミアレハ油ハ差押フヘキモノトス

第三 實印

第四 祭祀ニ必要ナル物品及石碑墓地

某問徵收課答 本項ニハ神棚佛壇ヲモ包含ス

第五 滯納者ノ家ニ必要ナル系譜、日記、書付類

第六 滯納者及其同居家族ノ身分ニ必要ナル制服、祭服、法衣

第七 勳章其他名譽ノ章票

○全年二月十四日青森縣收 名譽ノ章票トハ寄附金等ニ依テ得タル賞盃モ亦包含ス
稅長問合主稅局長回答 ○某問徵收課答 各種ノ褒章及赤十字社ノ徽章、憲法發布紀念章等ノ如キモ包含ス

第八 修學上必要ナル教科書器具

○全年三月十一日奈良縣收 處分法第十八條第八修學上必要ナル教科書器具トハ
稅長問合主稅局長回答 滯納者及同居家族ニ於テ現ニ用ユル書籍器具ノミナリ

第九 發明ニ係ル未定ノ物品未タ發行セサル著譯書類

第十 滯納者ノ同居家族ノ財産ニシテ一箇年前ニ官簿ニ記載シタルモノ若クハ一箇年前ニ記名シタル公債證書、株券、手形其他ノ證券

但所得税ニ關シテハ此限ニ在ラス

○某問徴收課答 官簿トハ登記所ノ登記簿公証人ノ公証簿、土地臺帳、建物臺帳等ヲ云フ

第十九條 左ニ掲クル物件ハ他ニ處分費税金ヲ償フニ足ルヘキ物件存在スルトキハ滯納者ノ撰擇ニ依リ差押ヲ爲サ、ルモノトス

第一 農業ニ必要ナル器具、種子、肥料及牛馬並ニ其飼料

第二 職業ニ必要ナル器具及材料

○全年二月廿六日大坂府収 職業中ヘハ商業モ包含ス
稅長問合主稅局長回答

第二十條 收入官吏ハ財産差押ヲ爲スタメ滯納者ノ家屋倉庫其他ノ場所ニ立入ルヲ得

滯納者他人ノ家屋倉庫其他ノ場所ニ物件ヲ藏匿スト思料スルトキハ收入官吏其場所ニ立入り取調ヲ爲スコトヲ得

收入官吏滯納者又ハ他人ノ家屋倉庫其他ノ場所ニ立入ルハ日出ヨリ日没マテノ時間ニ限ルヘシ

○全年一月三十日直方 財産差押ヲ爲スタメ滯納者ノ家屋ニ立入ルニ當リ若シ本出張所問合徴收課答 入拒テ入レサルトキハ警察官吏ト立會取調ヲ爲シ然ルヘシ

第二十一條 收入官吏滯納者ノ家屋倉庫其他ノ場所ニ立入ル

トキハ滯納者若クハ其同居家族他人ノ家屋倉庫其他ノ場合ニ立入ルトキハ其所用者若クハ其同居家族ヲシテ立會ハシムヘシ滯納者又ハ其所用者及其同居家族トモ不在ナルトキハ隣佑

一名以上又ハ市町村若クハ警察ノ吏員ヲシテ立會ハシムヘシ
○全年三月四日栃木縣収 處分法第二十一條ノ同居家族ハ附籍者ハ包含セス附籍稅長問合主稅局長回答 者及雇人アルモ該人ヲシテ立會ハシムルヲ得ス

第二十二條 收入官吏ハ財産差押ヲ爲スニ當リ門戶倉庫房室及筐匣等ノ閉鎖シアルトキハ之ヲ開カシメ又ハ自ラ之ヲ開

クコトヲ得

○某問徴収課答 本條閉鎖シアルトキハ滞納者又ハ同居家族雇人等ヲシテ之ヲ開カシメ而シテ之ヲ開カシムルヲ能ハサル場合ニ在テハ収入官吏ハ人夫ヲ雇入レ又ハ他ノ方法ヲ以テ之ヲ開クモ亦止ムヲ得サルナリ

第二十三條 収入官吏財産差押ヲ爲ストキハ差押命令書ヲ携帶シ滞納者若クハ立會人ノ求ニ依リ之ヲ示スヘシ

○施行細則第一條并取扱心得第一條參看スヘシ

第二十四條 財産ヲ差押ヘタルトキハ収入官吏其差押調書ヲ作り立會人ト共ニ署名捺印シ其謄本ヲ立會人ニ交付スヘシ

○施行細則第三條參看スヘシ

第二十五條 通貨及第十三條第一ノ物件ヲ差押ヘタルトキハ封印シテ其地ノ市町村長ニ預ケ第十三條第二以下ノ物件ヲ差押ヘタルトキハ其目錄ヲ添テ其地ノ市町村長ニ之ヲ預ケ其預リ證書ヲ取ルヘシ

○全年三月四日栃木縣収

處分法第二十五條ノ預リ証ニハ相當印紙ヲ貼用スヘシ

○全年二月七日神奈川縣收

稅長問合主稅局長回答

處分法第二十五條ノ場合ニ若シ看守人ヲ要スルコトアルモ之ヲ置クヲ得

第二十六條 左ノ場合ニ於テハ滞納者又ハ其同居家族ヲシテ差押物件ノ保管ヲ爲サシムルコトヲ得

第一 収入官吏ニ於テ必要ト見認ルトキ

第二 運搬ニ困難ナルトキ又ハ多額ノ運搬費ヲ要スルトキ
此場合ニ於テハ封印又ハ其他ノ方法ニ依リ差押物件タルコトヲ明ニスヘシ又必要ナル場合ニ於テハ看守人ヲ置クヘシ

○全年二月七日神奈川縣
收稅長問合主稅局長回答 處分法第二十六條ノ看守人トハ保管シアル物件ニ付置ク義ナリ

第二十七條 債主權ヲ差押タル場合ニ於テハ収入官吏ヨリ負債者ニ對シ差押ノ通知ヲ爲スヘシ

負債者前項ノ通知ヲ受ケタル後滞納者ニ對シ其義務ヲ履行シタル時ハ其履行ノ効ナキモノトス

○施行細則第四條參看スヘシ

第二十八條 不動産及船舶ヲ差押ヘタルトキハ收入官吏ハ所

轄登記所ニ照會シテ差押ノ記入ヲ受クヘシ

○全年一月十日福岡始審裁判所長ヨリ治安裁判所并全出張所へ通達 明治二十二年法律第三十二号國稅滯納處分法中登記ニ關スル事項ハ左ノ通心得ヘシ

第一項 國稅滯納處分法第二十八條ニ依リ收入官吏ヨリ地所建物船舶ノ差押ノ照會ヲ受ケタルトキハ登記法第九條第三十一條第一項及登記法取扱規則第十條第二項ニ準シ單ニ其照會書ニ依リ相當ノ記入ヲ爲シ又差押取消ノ照會ヲ受ケタルトキモ上文ニ準シ其取消ヲ爲スヘシ

但シ本文ノ照會ニ對シ記入済又ハ取消済ノ回答ヲ要セサルモ其照會書中登記取扱上不備ノ廉アルトキハ收入官吏ニ照會スヘシ

第二項 國稅滯納處分法第四十二條ニ依リ收入官吏ニ於テ買受人ニ交付シタル書面ハ登記法第十六條ノ證書ト同一ノモノトス

第二十九條 質入書入ト爲シタル財産ヲ差押ヘタル場合ニ於

テハ收入官吏ハ差押物件、處分費、稅金額及賣却決行ノ期日ヲ其債主ニ通知スヘシ

前項ノ場合ニ當リ其債主ニ於テ處分費稅金ヲ完納シタルトキハ其差押ヲ解クヘシ

○全年二月十九日富山縣何大藏省指令 登記ヲ要スヘキ財産ニシテ一ヶ年前ニ登記ヲ經サルモノハ勿論登記ヲ要スルモノト要セサル財産トナ問ハス証券印稅規則ニ違ヒ

又ハ定限外ノ利子ヲ付シタル証書ナルトキハ第二十九條及第四十三條第二項ノ限外ナルヘント雖モ其際印稅規則及利子ヲ更正スルモノハ質入書入ノ一ヶ年前後ニ區分有効トシ本條項ニ據ルヘキヤニ對シ本法第二十九條及第四十三條第二項ノ限外タルヘキ限リニアラス

○全年二月二十八日滋賀縣 處分法第二十九條ノ質入書入トハ土地家屋船舶等質

入書入規則ニ據リタルモノ、ミアラスシテ普通抵當物ヲ差入又ハ書入金數ノ貸借ヲ爲スモノト雖モ無論同條ヲ適用スルモノトス

○全年二月一日福輪出張 處分法第二十九條ノ質入書入ト爲シタル財産ヲ差押ヘタル場合ニ於テ債主へ通知スルニ債主遠隔ノ地へ居住スルトキハ債主通知ヲ受ケ直チニ辨納ヲ爲スニ要スル日數ヲ豫定シ賣却決行期日ヲ定ムヘシ

第三章 賣却

第三十條 財産差押ノ手續ヲ終リタルトキハ收入官吏ハ其翌

日ヨリ三日以後五日以内ニ賣却公告ノ手續ヲ爲スヘシ
賣却ノ公告ハ左ノ場所ニ揭示シテ三日以上之ヲ爲スヘシ

第一 課稅地ノ郡市役所及區役所若クハ町村役場ノ揭示場

第二 物件所在ノ場所

賣却物件ノ價多額ナルカ又ハ滯納者ノ請求アルカ又ハ收入
官吏必要ト認ムル場合ニ於テハ前項ニ掲クル場所ノ外近傍
人民群集地ニ揭示シ又ハ其地方ノ新聞紙ニ其要件ヲ公告ス
ルコトアルヘシ

○第三條ニ掲クル二月十九日富山縣伺大藏省指令并ニ施行細則第五條參看スヘシ

○全年二月廿六日愛媛縣 處分法第三十條二項及三項賣却ノ揭示ハ郡市役所

及町村役場へ送付シテ揭示セシムルモノニアラス收入官吏ニ於テ爲スヘキ

モノトス

第三十一條 差押物件ハ入札若クハ競賣ノ方法ヲ以テ之ヲ公
賣スルモノトス但法律規則ニ依リ取扱ニ制限アル物件ハ此限
ニ在ラス

前項但書ノ物件及豫定總價格壹円未満ノ差押物件ハ公賣ニ
付セス評價ヲ以テ之ヲ賣却スルコトヲ得

○全年二月廿六日栃 處分法第三十一條二項ニ依リ不動産及船舶ト雖モ豫定價格
木縣伺大藏省指令 登圖未滿ナレハ評價ヲ以テ賣却ス

○某問徵收課答 第一項但書法律規則ニ依リ取扱ニ制限アル物件トハ例へハ諸印
紙、郵便切手、藥品、火藥、爆發物、銃砲、製造煙草、未製造煙草、度量衡等ノ類ヲ云フ
○施行細則第六條參看スヘシ

第三十二條 差押物件ヲ賣却セントスルトキハ收入官吏ニ於
テ其物件ノ價格ヲ豫定シ之ヲ封書トシ入札若クハ競賣ノ場
所ニ置クヘシ

第三十三條 賣却ハ差押物件所在ノ市町村内ニ於テ之ヲ爲ス
ヘシ但收入官吏ニ於テ必要ナリト認ムルトキハ他ノ地ニ於
テ之ヲ賣却スルコトヲ得

○全年二月十四日青森縣收 入札ノ場所ト開札ノ場所ヲ異ニシタルキハ豫定價格ノ
稅長問合主稅局長回答 封書ト開封トハ成ルヘク場所ヲ異ニセスシテ其場所ニ豫定價格ノ封書ヲ置

第三十四條 滯納者及賣却ヲ爲ス地方ノ稅務ニ關スル官吏雇員ハ直接ト間接トヲ問ハス其賣却物件ヲ買受ルコトヲ得ス

○全年三月五日島根縣稅務長問合主稅局長回答

處分法第三十四條ノ吏員ハ市町村役場員ハ包含セス

○全年三月十二日奈良縣稅務長問合主稅局長回答

處分法第三十四條ノ官吏間接ニ賣得ノ後異日發覺セシ場合ハ之ヲ懲戒處分スルニ止メ其公賣ハ有効トス

○全年二月四日山形縣稅務長問合主稅局長回答

公賣物件入札ニテ拂下ケタル後買得者丁年未滿ト雖モ入札取消スヘキ限ニ非ラス尤モ治産ノ禁ヲ受ケタルモノハ取消ヲ要ス

第三十五條 第十三條第一第二第三ノ物件ハ公告ノ日ヨリ十日以外第四第五第六ノ物件ハ二十日以外ニ於テ賣却ヲ爲スヘシ

○全年三月四日栃木縣稅務長問合主稅局長回答

處分法第三十五條公告ノ日ハ公告面ニ記載ノ日ヲ云フ

○全年一月三十一日直方出張所問合徵收課回答

處分法第三十五條ニ依リ滯納者ノ物件ヲ各別ニ時日ヲ定メ賣却ヲ爲スハ不容易手數ニ涉ルノミナラス處分入費相當ムヲ以テ處分上

差支ナキ場合ハ第四以下全條ノ時日ニ操下ルモ敢テ差支ナシ

第三十六條 差押物件損敗シ易キモノ又ハ多額ノ保存費ヲ要

スルモノ又ハ其價額ヲ著シク減少スルノ恐アルモノナルトキハ前條ノ日限ニ拘ハラズ之ヲ賣却スルコトヲ得

第三十七條 收穫前差押ヘタル生産物ハ其成熟後之ヲ賣却スヘシ

第三十八條 債主權ヲ差押ヘタル場合ニ於テハ負債者其義務ヲ認メタル後之ヲ賣却スヘシ若シ負債者其義務ヲ認メサルト

キハ收入官吏ハ其差押ヲ解キ更ニ他ノ物件ヲ差押フルコトヲ得

負債者其義務ヲ認メサル場合ニ於テ他ニ差押フヘキ物件ナキ

トキハ收入官吏ハ裁判所ニ出訴スルコトヲ得

○全年二月二十六日栃木縣何大藏省指令

處分法第三十八條債主權他人ト連帶ナルト雖モ其帶納者ト他

人ト債主權區分方明瞭ナラサルト雖モ滯納者ニ屬スヘキ債主權ノ外賣却スルコトヲ得ス

第三十九條 不動産及船舶ノ公賣ハ入札ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

○第三十條ニ揭クニ二月廿六日栃木縣何指令參看スヘシ

第四十條 賣却ヲ爲スニ當リ買受人ナキカ又ハ其買受價額

カ豫定價格ニ達セサルトキハ收入官吏ハ其豫定價格ノ幾分

ヲ減シテ更ニ豫定價格ヲ定メ再公賣ヲ爲スヘシ此場合ニ於テ尙ホ買受望人ナキカ又ハ其買受價額尙ホ豫定價格ニ達セサルキハ其豫定價格ヲ以テ其物件ヲ政府ニ買上ケ其代金ヲ處分費税金ニ充ツヘシ

第十三條但書ニ依リ差押ヘタル全部ノ物件ヲ政府ニ買受ケタル場合ニ於テ其代金ヲ處分費税金ニ充テ尙ホ殘餘アルトキハ第四十三條ニ依リ處分スヘシ

○全年三月三日鹿兒 土地買受望人ナクシテ買上ケタルキハ買上ノ際月割ヲ以テ計算シ其前月迄ニ係ル地租ヲ一時徴收スヘシ

○全年二月四日山形縣收 收入官吏ノ定ムル豫定額ハ賣却物件ノ時價ヲ以テスヘキハ勿論ニ候得共賣却代價豫定價格ニ達セサルカ爲メ其幾分ヲ減スル場合ハ時價ノ幾分ヲ減セス又處分費滯納金ヲ償フニ足ル迄減却モセス當時ノ景況ヲ斟酌シ最前ノ豫定價格ヨリ幾分ヲ減スルモノトス

○施行細則第九條參看スヘシ

第四十一條 賣却ヲ終リタルトキハ收入官吏ハ賣却調書ヲ製シ買

受人ト共ニ署名捺印シテ其謄本ヲ滯納ニ交付スヘシ買入書入ノ物件ヲ賣却シタル場合ニ於テハ其債主ニモ其謄本ヲ交付スヘシ買受人賣却調書ニ署名捺印スルコト能ハサルトキハ其事由ヲ記載スヘシ

債主權ヲ賣却シタル場合ニ於テハ負債者ニ買受人ノ住所姓名ヲ通知スヘシ

○全年二月十四日青森縣收 政府ニ買上ケタルキハ賣却調書ヲ調製スルヲ要ス

○稅長問合主稅局長回答 四十一條賣却調書ノ謄本ヲ債主ニ交付スルキハ其必要ノ部分ノミチ書拔交付スルニ止メス尙ホ謄本ヲ交付スルヲ要ス

○施行細則第八條參看スヘシ

第四十二條 賣却シタル物件登記ヲ要スルモノナルトキハ收入官吏ハ落札達書及代金完納ノ證書ヲ買受人ニ交付スヘシ

○全年二月十七日滋賀縣收 登記ヲ要セサル物件ト雖モ金穀貸借証文等ノ如キモ稅長問合主稅局長回答 ノハ該証文ニ債主權ノ移轉シタルコトヲ裏書シ買受人ヘ付與スルノ限リニアラス代金ノ領收証ヲ以テ之レヲ証シ得ヘキニ付該證書ヲ交付スルニ止ル

○第二十九條ニ掲出セル始審裁判所通達并取扱心得第三條參看スヘシ

第四十三條 差押物件ノ賣却代金及差押ヘタル通貨ハ處分費税金ニ充テ尙ホ殘餘アルトキハ之ヲ滯納者ニ還付スヘシ賣却シタル物件質入書入ト爲シタルモノナルトキハ其代金ヨリ先ツ處分費税金ヲ扣除シ次ニ其負債金額ニ充ルマテテ債主ニ交付シ尙ホ殘余アレハ之ヲ滯納者ニ還付スヘシ若シ滯納税金ノ納期限ヨリ一箇年前ニ質入書入ト爲シタルモノナルトキハ其代金ヨリ先ツ其負債金額ニ充ルマテ債主ニ交付シ次ニ處分費税金ヲ扣除シ尙ホ殘餘アレハ之ヲ滯納者ニ還付スヘシ

前二項ノ場合ニ於テ滯納者ニ對シ裁判ノ執行アルトキハ其殘餘金ハ該裁判所ニ送付スヘシ

○全年三月八日青森縣同大藏省指令 第三期地租不納ニ依リ地所差押處分中第四期ノ納期內ニ賣却スルモ四期税金ハ買受人ヨリ徴收ス

第三期地租ノ爲滯納者所有物件悉皆差押ノ後處分結了以前若シ第四期納期

ヲ過クル時ハ第三期第四期分ヲ併セテ滯納處分ヲ爲スヘシ此場合ニ於テハ賣却代金ノ内ヨリ先ツ處分費及第三期地租ヲ引去リ其剩餘金ヲ第四期地租ニ充テ不足アルキハ缺損トス

○第二十九條ニ掲出セル富山縣同指令并施行細則第七條第十條第十二條參看スヘシ

第四十四條 債主ニ交付スヘキ金額ハ賣却調書ノ謄本及計算書ヲ滯納者ニ交付シタル後五日ヲ經テ之ヲ交付スヘシ若シ五日以内ニ滯納者ヨリ異議ヲ申立ルトキハ其事由ヲ債主ニ通知シ雙方連署ノ書面又ハ確定裁判ノ言渡書ヲ以テ其金額受取方ヲ申出タルトキ之ヲ交付スヘシ

○第三條ニ掲出スル二月十九日富山縣同指令參看スヘシ

第四章 送達

第四十五條 滯納處分ニ關シ滯納者又ハ其債主若クハ負債者ニ對シ書類ヲ送達スルニハ使丁ヲシテ之ヲ送達セシムヘシ但送達ヲ受クヘキ者遠隔ノ地ニ在ル場合ニ於テハ書留郵便

ヲ以テ送達スルコトヲ得

○全年二月八日和歌山縣収 滯納者ニ向ヒ書留郵便ヲ以テ督促令狀ヲ送付スルハ

稅長問合主稅局長回答 實際到達スヘキ日限ヲ以テ送達アリタルモノト見認ルモノトス

○全年二月三日石川 督促令狀モ處分法第四十五條ニ依ルチ法トス但シ使丁ノ職

縣伺大藏省指令 務ハ可成収稅部出張所小使ヲシテ取扱ハシムヘシ

○施行細則第三條參看スヘシ

第四十六條 使丁ハ送達書類ヲ本人ニ渡スヘシ本人不在ナル

トキハ同居人ニ渡スヘシ

使丁ハ送達書類ヲ受取リタル者ヨリ領收書ヲ取リテ收入官

吏ニ差出スヘシ若シ受取人領收書ヲ記スルコト能ハサルト

キハ使丁代テ之ヲ記シ其旨ヲ附記シテ捺印セシムヘシ

○全年二月六日大坂府収 督促令狀ヲ送達シ本人受取リチ肯セサル場合ハ送達書

稅長問合主稅局長回答 其事由ヲ記載スルヲ以テ其効アルモノトス

第四十七條 送達ヲ爲スニ當リ本人不在ニシテ且本人ニ代リ

テ受取ルヘキ者アラサルトキハ送達書類ヲ其地ノ市町村長

ニ渡シ市町村長ハ其書類ヲ受取人ニ渡シ其領收證ヲ取リテ
收入官吏ニ差出スヘシ

○全年二月十四日青森縣収 本人不在ニシテ市町村長ニ送達書ヲ渡シタルキハ市
稅長問合主稅局長回答 町村長ヲシテ送達書ニ署名捺印セシムルモノトス

第四十八條 市町村長ニ於テ相當ノ處置ヲ爲スモ書類ヲ受取

人ニ渡スコト能ハサルトキハ公示スヘシ

公示ハ送達スヘキ書類ノ要旨ヲ摘記シテ之ヲ其本人所在地ノ市役所

若クハ區役所若クハ町村役場ノ揭示場ニ二日間揭示スルモノトス

前項ノ揭示ヲ爲シタル日ヨリ五日ヲ經過スルトキハ書類ノ

送達アリタルモノト看做スヘシ

○施行細則第十四條參看スヘシ

第四十九條 郵便ヲ以テ書類ヲ送達スルニ當リ受取人ノ住居

不分明ニシテ配達スルコト能ハサルトキハ收入官吏ハ其書

類ヲ市町村長ニ送致シ市町村長ハ前二條ニ依リ處分スヘシ

第五章 罰則

第五十條 正當ノ理由ナクシテ第二十一條第一項ノ立會ニ應
セサル者ハ貳圓以上拾圓以下ノ罰金ニ處ス

第五十一條 滯納處分ニ對シ財産ヲ藏匿脱漏シ又ハ虛偽ノ契
約ヲ爲シタル者ハ一月以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス

差押物件ノ保管者其保管ニ係ル物件ヲ藏匿脱漏費消若クハ
故意ニ毀損シタル者モ亦同シ

情ヲ知テ前二項ノ所爲ヲ幫助シ又ハ處偽ノ契約ヲ承諾シタ
ル者ハ各本刑ニ一等ヲ減ス

附則

第五十二條 市町村制ヲ施行セサル土地ニ在テハ市町村長ノ
職務ハ區戸長之ヲ行フヘシ

第五十三條 此法律ハ明治二十三年一月一日ヨリ施行ス但沖
繩縣及東京府管轄小笠原嶋伊豆七嶋ハ之ヲ施行セス

第五十四條 明治十年第七十九條布告及現行法令中此法律ニ
抵觸スル條項ハ總テ廢止ス

附錄

國稅滯納處分法施行細則

明治二十三年一月八日大藏省令第一号

第一條 處分法第二條ノ督促令狀同第十二條ノ差押命令書ハ

第一号様式第二号様式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

○ 全年三月三日鹿兒 財產差押命令書割印ハ縣廳印ヲ用ユヘシ
○ 全年三月三日鹿兒 縣廳印大藏省指令

○ 全年二月七日熊本縣 施行細則附屬第二号雜形財產差押命令書ハ税目毎ニ之
稅長問合主稅局長回答

○ 全年二月七日熊本縣 施行細則附屬第二号雜形財產差押命令書ハ税目毎ニ之
稅長問合主稅局長回答

○ 全年二月七日熊本縣 施行細則附屬第二号雜形財產差押命令書ハ税目毎ニ之
稅長問合主稅局長回答

○ 全年二月七日熊本縣 施行細則附屬第二号雜形財產差押命令書ハ税目毎ニ之
稅長問合主稅局長回答

○ 全年二月七日熊本縣 施行細則附屬第二号雜形財產差押命令書ハ税目毎ニ之
稅長問合主稅局長回答

○ 全年二月七日熊本縣 施行細則附屬第二号雜形財產差押命令書ハ税目毎ニ之
稅長問合主稅局長回答

○ 全年二月七日熊本縣 施行細則附屬第二号雜形財產差押命令書ハ税目毎ニ之
稅長問合主稅局長回答

○ 全年二月七日熊本縣 施行細則附屬第二号雜形財產差押命令書ハ税目毎ニ之
稅長問合主稅局長回答

○ 取扱心得第一條參看スヘシ

○某問徴収課答 督促令狀元帳并ニ差押命令書元帳ハ適宜調製スルヲ要ス

第二條 處分法第十八條第一第二ニ掲クル衣服、寢具、家具、厨具、食料及薪炭ノ數量ハ普通法ノ例ニ依ルヘシ但其例ナキモノハ人口ヲ量リ生活上必要ト認ムル數量ヲ殘シ置クヘシ

○某問徴収課答 本條普通法トハ民事身代限處分法ノ如キヲ指シタルモノニシテ其例ナキモノハ地方ノ習慣ニ依リ其滞納者ノ生計ノ度ニ應シ定ムヘキモノナリ

第三條 財産差押ノ調書ニハ左ノ諸件ヲ記載スヘシ

- 一 滞納者ノ住所氏名
- 二 動産ハ其名稱、種類、數量
- 三 不動産ハ其位置、番号、名稱、種類段別又ハ坪數及土地臺帳ニ記スル地價地租
- 四 船舶ハ其種類、積量、定繫場及所在ノ場所
- 五 登記簿ニ登記アル質入書入ノ金額利子及其返濟、期限、登記ノ年月日、債主ノ住所氏名又ハ質入書入ノ登記アラサ

ルコト

- 六 貸與シタル不動産ニ付テハ借主ノ住所氏名、其契約ノ要項返戻期限アレハ其期限及賃金
- 七 差押ノ事由及手續

第四條 債主權差押ノ通知書ニハ左ノ諸件ヲ記載シ收入官吏署名捺印スヘシ

- 一 差押ヘタル債主權ノ種類、員額
- 二 差押ノ事由
- 三 滞納者ニ對シ義務ノ履行ヲ爲スモ無効タルヘキ旨
- 四 此通知書ノ送達ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ其義務ヲ認ムルカ又ハ認メサル旨ヲ申出ツヘキ旨

第五條 財産賣却ノ公告文ニハ左ノ諸件ヲ記載スヘシ

- 一 滞納者ノ住所氏名

- 二 動産ハ其名稱、種類、數量、
 - 三 不動産ハ其位置、番號、名稱、種類、段別又ハ坪數及土地臺帳ニ記スル地價、地租
 - 四 船舶ハ其種類、積量、定繫場及所在ノ場所
 - 五 競賣若クハ入札ノ場所、日限、
 - 六 開札ノ場所日時
 - 七 保證金ヲ徵スルトキハ其金額
 - 八 代金納付ノ期限
 - 九 條件附ノ不動産ナレハ其條件
 - 十 其他隨時主任官吏ニ於テ定メタル公賣手續上ノ要件
- 全年二月十四日青森縣稅務局長回答 省令第五條第九項條件付ノ不動産ハ滯納者ノ爲メタル契約ノミニ限ラス苟モ該不動産ニ屬スル權利義務ハ之ヲ同不動産ノ條件トス
- 第六條 競賣ヲ以テ賣却ヲ爲ストキハ收入官吏競賣人ヲ命シテ之ヲ取扱ハシメ自カラ之ヲ監督スヘシ

- 入札ヲ以テ賣却ヲ爲ストキハ收入官吏自カラ之ヲ取扱フヘシ
- 第七條 賣却物件ノ買受人代金納付ノ期限内ニ代金ヲ完納セサルトキハ其物件ヲ交付セス更ニ賣却ヲ爲スヘシ此場合ニ於テ保證金アルモノハ之ヲ還付セス其金額ハ處分費税金ニ補充スヘシ
- 第八條 財產賣却調書ニハ左ノ諸件ヲ記載スヘシ
- 一 動産ハ其名稱、種類、數量
 - 二 不動産ハ其位置、番號、名稱、種類、段別、坪數及土地臺帳ニ記スル地價、地租、
 - 三 船舶ハ其種類、積量、定繫場、及所在ノ場所
 - 四 公告及賣却ヲ爲シタル方法
 - 五 競賣ヲ爲シ又ハ入札ヲ開キタル場所、日時
 - 六 三番札マテノ入札代價並其入札人ノ住所氏名

- 七 再公賣ヲ爲シタルトキハ其事由
- 八 保証金ヲ徴シタルユト及其金額
- 九 落札代價及落札ノ住所氏名
- 十 代金納付ノ日限

第九條 處分法第四十條ニ依リ賣却物件ヲ政府ニ買上ルトキハ收入官吏該代金ヲ地方長官ニ請求シ之ヲ支辨シ該物件ハ主管ノ官吏ニ引渡スヘシ

第十條 滯納處分濟ノ上國庫ノ損失ニ歸シタルトキハ處分濟ノ日ヨリ十日以内ニ收入官吏ヨリ事由ヲ具シ其缺損額ヲ地方長官ニ稟申スヘシ

○全年二月八日和歌山縣稅長閉合主稅局長回答 施行細則第十條ニヨリ收入官吏ヨリ地方長官ニ稟申セシ分ハ大藏大臣ニ稟申ニ及ハス

第十一條 處分法第十一條ニ依リ滯納處分ノ囑託ヲ受ケタル

收入官吏ハ其處分ニ由リテ徵收シタル金額ノ内處分費ヲ扣除シ其殘金及諸書類ヲ囑託收入官吏ニ送付スヘシ若シ滯納者又ハ債主ニ交付スヘキ金額アリテ其者受託收入官吏ノ管轄地内ニ住スルトキハ受託收入官吏ニ於テ其金額交付ノ手續ヲナスヘシ

○全年三月二十八日坤第 施行細則第十一條ニ依リ滯納處分ノ囑託ヲ受ケタル收入官吏ニ於テ其處分ニ據リ徵收シタル金額ノ内處分費ヲ扣除シ其殘金ヲ囑託收入官吏へ送付スヘキ場合ニ於テハ右現金ハ爲換又ハ通運便等便宜ノ方法ニ由リ遞送取計該爲換料遞送費ハ六月十八日坤第一三二九號主稅局長通牒ニ内國稅徵收費ヨリ支辨スヘシ

第十二條 處分法第四十三條ニ依リ殘餘金ヲ滯納者ニ還付シ又ハ負債金額ヲ債主ニ交付スルトキハ左ノ諸件ヲ記載シタル計算書ヲ添付スヘシ

- 一 物件賣却代金
- 二 保証金ヲ還付セサルトキハ其金額

三 處分費各費目ノ金額及税金
 四 債主ニ交付スヘキ金額及債主ノ氏名
 五 滞納者ニ還付スヘキ金額
 第十三條 處分法第四十五條ニ依リ使丁ヲ以テ書類ヲ送達スルトキハ第三号様式ノ送達書ヲ添付スヘシ
 第十四條 處分法第四十八條ニ依リ市町村長ニ於テ送達書類ノ公示ヲ爲シタルトキハ直ニ其公示ノ日時ヲ收入官吏ニ通知スヘシ
 第十五條 督促令狀ヲ受タル後ヲ滞納者又ハ第三者ニ於テ滞納處分費及税金ヲ完納スルトキハ滞納處分費ハ第四号様式税金ハ第五号様式ノ納付書ニ督促令狀ヲ添付シ之ヲ金庫ニ拂込ムヘシ

○二十三年二月十七日大藏省訓令第七号本年大藏省令第一号國稅滞納處分法施行細則第四号第五号様式納付書ノ儀二十三年度以降ハ本年大藏省令第三号國稅徵收法施行細則第四号様式ニ準シ年度科目ノ次行へ收入官吏官氏名扱収稅部何地出張所ノ文字ヲ記入セシムヘシ
〔同年二月廿七日訓令第三百四十八號ニテ市町村へ訓令〕
 ○二十三年三月二十二日大藏省訓令第四十三號市町村ニ於テ徵收スヘキ國稅
○レテ納期限ヲ過キ市町村長ヨリ滞納報告以後督促令狀發付以前ニ於テ該滞納税金ヲ上納セントスル者アルハ甲号様式ノ納付書へ乙号ノ如ク收入官吏ニ於テ裏書ヲ爲シ税金ハ本人ヲシテ直ニ金庫へ納付セシメ其領收証ノ檢印及ヒ別符ノ切離ヲ請ヘシムヘシ
〔同年三月廿九日付訓令第四百三十五号ニテ市町村へ〕
 訓令且但書ニテ二月訓令第二百五十一号訓令取消〕

甲 號 用紙適宜 縱四寸五分ノモノ二枚 縱四寸五分ノモノ一枚 接續 横三寸三分

第 何 號	經 常 租 稅	住 所 氏 名
明 治 何 年 度	項	目
收 入 官 吏 氏 名	扱	收 稅 部 何 地 出 張 所

一金何程

付 右納付候也
 明治何年何月何日
 住所氏名印

甲 號

用紙適宜 縱四寸五分ノモノ二枚 橫二寸五分ノモノ一枚 接續

納

第何號	經常租稅	住所氏名
明治何年度	項	目
收入官吏氏名	扱	收稅部何地出張所
		第何期分年

一金何程

右納付候也

明治何年何月何日

住所氏名印

金庫割印

書

第何號	經常租稅	住所氏名
明治何年度	項	目
收入官吏氏名	扱	收稅部何地出張所
		第何期分年

一金何程

右領收候也

明治何年何月何日

何地金庫印

收入官吏檢印

全權取
扱主任
ノ印

金庫割印

金庫割印

收入官吏
檢印

取

第何號	經常租稅	住所氏名
明治何年度	項	目
收入官吏氏名	扱	收稅部何地出張所
		第何期分年

一金何程

明治何年何月何日

何地金庫へ納付

收入官吏
檢印

書

乙 號

裏

面

收稅部何地出張所

收入官吏官氏名承認

捺印

金附

四部同平四日同日

古部付新出

計部五谷印

一金附錄

<p>御入官書其後</p>		<p>御入官書其後</p>	
御入官書其後	御入官書其後	御入官書其後	御入官書其後
御入官書其後	御入官書其後	御入官書其後	御入官書其後
御入官書其後	御入官書其後	御入官書其後	御入官書其後
御入官書其後	御入官書其後	御入官書其後	御入官書其後

甲

甲部同平四日同日

○全年六月十四日大 納税人ニ對シ直ニ徵稅令書ヲ發シ徵收スヘキ國稅ニシテ其
 藏省訓令百三廿 令書ノ發付ヲ受ケ納期經過後督促令狀發付以前ニ於テ該稅金ヲ上納セン
 トスル者アルトキハ本年三月當省訓令第四十三号乙号式ニ倣ヒ收入官吏ニ
 於テ其徵稅令書ヘ裏書ヲ爲シ稅金ハ本人ヲシテ直ニ金庫ヘ納付セシメ其領
 收ノ捺印及別符ノ切離ヲ請ハシムヘシ

第十六條 賣却物件ノ買受代金ハ買受人ニ於テ第六号様式ノ
 納付書ヲ添ヘ之ヲ收入官吏ニ納付スヘシ

○某問徵收課答 入札保証金并ニ本條ノ買受代金ハ二十二年八月大藏省令第
 十一號第十八號書式ニ依リ現金出納簿ニ記載整理スヘシ

第一號様式

用紙寸法適宜

(印章ハ孰モ朱)

督 促 令 狀		收入官吏印	
		第 何 號	經常 租 稅
明 治 何 年 度	何 (項)	何 (目)	明 治 何 年 第 何 期 分
一金 何 程	滞 納 稅 金		
一金 參 錢	督 促 令 狀 手 數 料		
右金額此令狀ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ當 出張所へ上納スヘシ若シ其期限ヲ過クルトキ ハ直ニ財産差押ノ處分ヲ爲スヘシ			
明治何年何月何日		何府 何縣 稅部 何出張所 收入官吏	
氏 名 印			

第二號様式

用紙寸法適宜

差押命令書

府縣廳
割印

滞納者住所
氏名

右何税何年何月何日限納
期ノ分金何程滞納ニ付國
稅滞納處分法ニ據リ本人
所有ノ財産ヲ差押フヘキ
者也

明治何年何月何日

府縣廳
之印

何府縣知事氏名

差押執行シタル
月日時

賣却執行シタル
月日時

手執行ノ

右之通取扱候也

明治何年何月何日

何府縣
何稅部何出張所收入官吏
氏名印

収入科目記
載方ハ廿三
年二月廿七
日第七二二
号大藏省達
參看スヘシ

第四號様式

用紙適宜 縦四寸五分ノモノ二枚 縦四寸五分ノモノ一枚 横三寸三分ノモノ一枚 横二寸ノモノ一枚 接續

納		付		領		収		書	
第何號	經常雜收入	第何號	經常雜收入	第何號	經常雜收入	第何號	經常雜收入	第何號	經常雜收入
明治何年度	雜入	明治何年度	雜入	明治何年度	雜入	明治何年度	雜入	明治何年度	雜入
雜	入	雜	入	雜	入	雜	入	雜	入
住所氏名	住所氏名	住所氏名	住所氏名	住所氏名	住所氏名	住所氏名	住所氏名	住所氏名	住所氏名
滞納處分費	滞納處分費	滞納處分費	滞納處分費	滞納處分費	滞納處分費	滞納處分費	滞納處分費	滞納處分費	滞納處分費
一金何程		右納付候也		右領収候也		一金何程		一金何程	
住所氏名印		住所氏名印		何地金庫印		何地金庫印		何地金庫へ納付	
収入官 吏檢印		収入官 吏檢印		収入官 吏檢印		収入官 吏檢印		収入官 吏檢印	
明治何年何月何日		明治何年何月何日		明治何年何月何日		明治何年何月何日		明治何年何月何日	

第五號樣式

用紙適宜 縱四寸五分ノモノ二枚 縱四寸五分ノモノ一枚 横三寸三分ノモノ一枚 接續

納

第何號	經常租稅	住所氏名
明治何年度	何々(項)	何々(目)
督促令狀第何號ノ分		明治何年何月何日

一金何程

右納付候也

明治何年何月何日

住所氏名印

金庫 割印

書

第何號	經常租稅	住所氏名
明治何年度	何々(項)	何々(目)
督促令狀第何號ノ分		明治何年何月何日

收入官 吏檢印

一金何程

右領收候也

明治何年何月何日

何地金庫印

金庫取ノ級主任印

金庫 割印

收入官 吏檢印

收

第何號	經常租稅	住所氏名
明治何年度	何々(項)	何々(目)
督促令狀第何號ノ分		明治何年何月何日

一金何程

明治何年何月何日

何地金庫へ納付

收入官 吏檢印

書

第六號樣式

用紙寸法適宜

納付書

證

一金何程

物件買受代金

內

金何程
金何程
金何程

何何何

々々々

右納付候也

明治何年何月何日

住所氏名印

國稅滯納處分法取扱心得

二十三年五月八日廳達第百五号

第一條 處分法第十二條ノ差押命令書ハ其都度知事ニ請求スヘシ

第二條 處分法第十條ニ依リ出訴スルモノアルキハ其出訴ノ

要旨ヲ知事ニ報告スヘシ

第三條 處分法第十一條ノ處分囑托書ハ第一号様式第四十二

條ノ落札達書及ヒ代金完納証書ハ第二号第三号様式ニ依リ

調製スヘシ

第一号様式

囑托書

縣郡市町村名

氏

名

明治何年度何年前(后)半年分

何月何日限納ノ分

一何税金何程

右何々(囑托ノ要旨ヲ記載スヘシ)國稅滯納處分法第十一條
ニ據リ處分方及囑托候也

福岡縣收稅部何地出張所收入官吏

年 月 日 官 氏 名 印

何府縣收稅部何出張所或ハ何嶋廳收入官吏

官 氏 名 宛

第二号様式

落札達書

落札人住所

氏 名

(本書ニハ左ノ要件ヲ記載スヘシ)

一 不動産ハ其位置、番號、名稱、種類、段別、坪數、及土地臺帳ニ記載
アル地價地租

一 船舶ハ其種類、積量、定繫場及所在ノ場所

一 落札代價

右住所何某所有財産國稅滯納處分法ニ據リ公賣ニ付シ候處前
記ノ代價ヲ以テ落札ス

明治何年何月何日

收稅部出
張所ノ印

福岡縣收稅部何地出張所收入官吏

官 氏 名 印

第三号様式

受 領 証

第何号

一金何程印

物件賣却代金

内

金何程印
 金何程印
 金何程印
 右領收候也

何々々
 何々々
 何々々

福岡縣收稅部何出張所收入官吏

年 月 日

官 氏 名 印

何 某 宛

明治二十三年二月十九日大藏省訓令第八号

一定ノ納期アル各種ノ國稅ニシテ其期日內皆納ニ至ラサルモノアルトキハ其實況及處分費等別表書式ニ據リ報告書ヲ調製シ納期後日數五十日以内ニ主稅局ヘ送付スヘシ
 但本年一月納期ニ係ルモノニ限り來ル三月三十一日迄ニ報告スヘシ

明治何年何月中徴収スヘキ國稅滯納處分施行實況報告表

種 目	各 稅 人 員	人 員 計	稅 額
納稅期限ヲ過キ完納セサルモノ			
徴収法第十三條ノ報告ヲ受ケタルモノ			
督促令狀ヲ發シタルモノ			
財産差押命令書ヲ發シタルモノ			

命令書ヲ發シタル後財産差押着手以前ニ完納シタルモノ				
財産差押后没却公告着手以前ニ完納シタルモノ				
財産没却ノ公告ヲナシタルモノ				
財産没却ヲ決行シタルモノ				
財産ヲ買上ケタルモノ				
處分法第九條ニ依リ完納又ハ代納シタルモノ				
處分法第五條ニ係ルモノ				

凡例

一本表ハ地租及酒造、醬油、煙草、菓子、賣藥等ノ各税、牛馬買賣免許税、船車税、度量衡税等ニシテ其納期中完納セサルモノニ對シ處分シタル結果ヲ記入スヘキモノトス

一各税人員ノ欄ヘハ一税目限、其頭字ト不納人員ヲ記入スヘキモノトス（仮令ヘハ地五〇、酒造五、醬油五、烟製三、菓子一〇、船五〇ト記入スルガ如シ）

一税額ノ欄財産没却ノ公告ヲナシタルモノ、財産没却ヲ決行シタルモノ、財産ヲ買上ケタルモノ、ノ三項ニ該當スル區ヘハ各其滞納税額ヲ記入スヘキモノトス

一全上ノ欄末項ノ處分法第五條ニ係ルモノトアル區ヘハ官ノ損失ニ係ル税額ヲ記入スヘキモノトス

一處分法第四十條ノ如キ場合アリテ本表調製ノ期日マテ結了セス隨テ表中記入ノ員數確定セサルモノアルトキハ見込ヲ以テ其人員税額ヲ記入シ其要領ヲ備考ニ附記スヘキモノトス

明治何年何年中徴収スヘキ國稅滞納處分費報告表

費目	處分費額	處分費ノ内収入額	官ノ損失額
督促令狀手数料			
差押調書及賣却調書調製費			
滞納又ハ其債主若クハ負債者ニ對スル通信費			
評價人看守人又ハ競賣人ノ給料			

差押物件ノ運搬保管又ハ賣却ニ要セシ諸費			
公告費			
訴訟ニ要セシ諸費			
計			

凡例

一處分費額ノ幾分ヲ收入シタルモノアルトキハ先ツ督促令狀手数料ノ額ヲ收入額ニ算入シ自餘ノ額ヲ他六項ノ收入額ニ算入シテ記載スヘキモノトス
 一事項アリテ本表調製ノ期日マテニ處分終了セス隨テ表中記入ノ金額確定セサルモノアルトキハ己ニ支出シタル金額ハ勿論將來支出ヲ要スヘキ見込額ヲ併記シ其之レヨリ収入スヘキ金額モ亦見込ヲ立テ各欄ニ合記シ更ニ之ヲ内何程ト腹書スヘキモノトス
 二十三年二月二十八日廳達第三十七号 本年二月大藏省訓令第八号ノ諸報告表ハ該納期後四十日以内收稅部へ送付スヘシ
 但本年一月納期ニ係ルモノニ限り來ル三月二十一日迄ニ報告スヘシ

地方稅備荒儲蓄金滯納處分方

明治二十二年十二月二十八日法律第三十三号

地方稅及備荒儲蓄金ヲ滯納スル者ハ國稅滯納處分法ニ依リ之ヲ徵收スヘシ但備荒儲蓄金ヨリ給與補助若クハ貸與ヲ受ル者ハ備荒儲蓄金ヲ免除スヘシ

明治十三年第五十号布告ハ廢止ス

縣達第二十七号

郡 役 所
 市 役 所
 町 村 役 場

明治二十二年^{十二}月^{十二}法律第三十二号ニ依リ地方稅及市稅町村稅滯納處分ニ付取扱方左ノ通相定ム

明治二十三年五月五日

福岡縣知事安場保和

第一條 國稅滯納處分法第二條其他ニ掲クル收入官吏ノ事務ハ地方稅ハ郡市長市稅ハ市參事會町村稅ハ町村長ニ於テ取

扱可シ

第二條 國稅滯納處分法第十二條ノ財産差押命令書ハ地方稅
ハ郡市長市稅ハ市參事會町村稅ハ町村長之ヲ發ス可シ

第三條 市役所ニ於テ處分スル地方稅滯納處分費ハ其經費所
屬ノ經濟ヘ取入ス可シ

第四條 國稅滯納處分法第四十條ノ買受望人ナキ物件ノ買上
ケ代金ハ特ニ費目ヲ設ケス地方稅ハ地方稅取扱費ヨリ市町
村稅ハ雜支出ヨリ支辨ス可シ

第五條 國稅滯納處分法第十一條ノ囑託ハ市町村稅ニ在テハ
市參事會及ヒ町村長ニ於テ直ニ他ノ市參事會及町村長ニ囑
託ス可シ

第六條 市町村稅ノ督促ニ關スル規定ハ市制町村制第百貳條
ニ依ル可シ

第七條 各滯納稅金扣除ヲ要スルキノ順序ハ從來ノ例ニ據リ

取扱可シ

第八條 國稅滯納處分法第十條ノ出訴アルキハ地方稅ニ在テ
ハ郡市長ヨリ其出訴ノ要旨ヲ知事ニ報告ス可シ

第九條 國稅滯納處分法第四十二條ノ落札達書及代金完納証
書ハ地方稅ニ在テハ別紙書式ニ據リ調製ス可シ

第十條 明治二十二年^{三月}法律第十一号ニ據リ開設スル會議ニ於
テ評決シタル土木費及教育費ハ前條市稅町村稅ノ例ニ依リ
各管理者ニ於テ取扱可シ

完納證

第何号

一金何程印

物件賣却代金

内

金何程印

何船何艘

金何程印

、 、 、

右地方稅滯納處分物件賣却代金ノ完納ヲ證ス

取入官吏

年 月 日

何郡(市)長氏名印

何某宛

落札達書

何縣何郡市町村大字何何番地

落札人 何ノ誰

何郡市町村大字何何番地

字何

一田(又ハ何々)何反步

地價何程

地租何程

同上

一建物何坪

但藁葺又ハ瓦葺

一船長何間 何艘 但漁船又ハ何々

定繫場地名

現在地地名

此落札代金何程 各別ニ賣却シタルトキハ各項ニ
分記シ此ノ處ニ合計ヲ記ス可シ

右何郡市町村大字何々番地何ノ誰所有財産地方税不納ニ付國
税滞納處分法ニ依リ公賣ノ處前記ノ代價ヲ以テ落札ス

年 月 日

收入官吏何郡市長氏名印

明治廿三年六月廿三日調
全 年九月廿四日出版屆

非賣品

福岡縣收稅部徵收課 印 行

福岡市福岡上名嶋町五十二番地

御用活版所

大原勝三郎

